



木の实谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第10号」
令和6年2月16日発行

教育目標 「向上心に燃え 心身ともにたくましく 実践力のある生徒」

誰も見ていないところで

校長 櫻井 直人

1月1日に発災した「能登半島地震」に対し、生徒会主催で募金を募ったところ、わずか5日間の活動で約50,000円の募金が集まりました。この募金は義援金として石川県に直接振り込ませていただきました。ご協力いただいた生徒、保護者、職員の皆様に心より感謝申し上げます。

3月8日(金)の「第45回卒業式」まで、あとわずかとなりました。この3年生28名は平成20年～平成21年に生まれた世代です。そのころの思い出として、北京オリンピック【平成20年8月】が開かれました。北島康介選手が平泳ぎ100m、200mで金メダル、またソフトボールでも上野由岐子投手の力投で金メダルなど、日本中が興奮しました。あれから15年経ったのです。保護者の皆様の感慨もひとしおだと推察されます。

3年生の皆さんは様々な方面で活躍しました。体育祭や音楽祭、生徒会行事や部活動など吉川中の最上級生として素晴らしいリーダーシップを発揮しました。卒業後は、新しい学校、新しい出会い、新しい考え方など生活が変わります。そして、1、2年生のみなさんもそれぞれ進級します。そんな皆さんに、ぜひ心がけてほしいことがあります。

昨年、メジャーリーグで活躍している大谷翔平選手が、グラウンドに落ちているゴミを拾い、ポケットにおさめた場面がテレビ中継されて話題になりました。あの場面、大谷選手はテレビ中継されることを意識していたのでしょうか。大谷選手は小学校時代からゴミを拾う習慣があり、おそらく何千回も誰も見ていないところで無意識に拾ってきたのでしょうか。その中の1回が偶然、テレビの電波に乗り全世界にテレビ中継されたのです。

この**誰も見ていないところでどのような行動をとるか**、このことは大変大きな意味を持つと思います。誰も見ていないところでゴミを捨てる人、ゴミを拾う人、どちらの行動が立派かは、論じるまでもありません。人前では、正しい行動ができて、だれも見ていないところで正しい行動ができる人こそ信頼できる人ではないでしょうか。大谷選手のように、いつか誰かの目にとまります。そのとき、「**この人はオモテとウラのない人**」と信頼されると思います。



「いや、私もゴミ拾いを習慣にしているけど、1回も見られたことがない」と思っている人、実は、どのような行動も最低1人は目撃者がいるのです。**それは自分**です。自分しか見ていないところでゴミを捨て続ける人、ゴミを拾い続ける人、どちらが**自分にとって自信**になるか、**いざというとき力を発揮**できるか、考えるまでもありませんね。

ぜひ、だれも見ていないところで正しい行動ができる人になりましょう。私も努力します。

<3学期始業式、教育期集会>



令和6年1月9日（火）最初の授業日です。1時間目には、体育館で始業式を行いました。始業式では、1月1日に発生した能登半島地震の犠牲者に対する黙とうを行いました。新年早々、大変な災害に見舞われてしまいましたが、吉川中学校では、幸い被害がありませんでした。始業式の中で、ソフトテニス部の活躍の表彰があり、少し元気の出る話題となりました。また、始業式後に今年度最後の教育期集会を行いました。今回から生徒会の運営で行われ、少し緊張しながらも、自分の言葉で全校生徒に伝えていました。その後、代表生徒が決意を述べるなど、会は力強く進行了ました。

<新年を祝う 大かるた大会>



1月11日（木）に、新春大カルタ大会を実施しました。3学期も良いスタートが切れるようにと、運営委員会が中心となって冬休み前から準備をしてくれました。カルタは全て手作りで、読み札・取り札ともに4月～12月の学校生活を振り返った、吉中ならではのものです。少ない人数ではありますが、新しい活動を企画したり、春からたくさんの思い出をつくってきました。今年度も残り少ないですが、これからも生徒が主体的に活動し、多くの達成感を味わえるよう支援していきます。

<持続可能な生徒会を目指し 臨時生徒総会>



吉川中学校の生徒数は、徐々に減り、生徒会活動も見直しを迫られる状況がありました。そこで令和5年度の生徒会が中心となり、今年度の経験を基に委員会の統廃合を検討し、臨時の生徒総会で決議しました。主体的に自分たちの組織を見直し、よりよく持続可能な集団にしていけることは、大人社会でも必要な取組であると感じています。将来に生きる力を身に付けてくれていること感謝しています。

<能登半島地震に思いを寄せ 義援金活動>

令和6年(2024年) 能登半島地震災害義援金 活動報告・御礼

令和6年1月1日に発生した能登半島地震について、災害義援金の募金活動を行いました。1週間という短い期間ではありましたが、多くのご協力をいただくことができました。大変ありがとうございました。被災された方々が、1日でも早く復興に向けて進むことができますよう、お祈り申し上げます。

募金額 **48,394 円**

全額石川県の義援金窓口へ直接振り込みました。

寄付にあたり、石川県HPで公開する支援者一覧「義援金をお寄せいただいた方々」に、**上越市立吉川中学校生徒会**として掲載してもらう予定です。掲載まで、しばらくお待ちください。

なお、今回の募金の様子を取材いただきました。上越タイムズHPでご覧いただけます。

[みんなの善意を被災地へ 石川県で義援金振り込む 吉川中学校生徒会](#)



能登半島地震 義援金



1月15日(月)から19日(金)まで、生徒玄関において、能登半島地震義援金募金を実施しました。2年生の新生徒会長、副会長を中心に毎朝募金箱をもって募金活動を呼びかけました。1年生から3年生まで多くの生徒が募金に協力してくれました。中には「お年玉の一部です」と1000円札を投じる生徒もありました。また、この呼びかけは保護者にも依頼しており、多くの保護者が玄関の中に入り、募金していただきました。みなさんの善意、本当にありがとうございました。上の書面でお知らせの通り、総額48,394円という大きな募金額になり、全額石川県に寄付いたしました。その様子を上越タイムズで取り上げていただき、生徒にも紹介したところです。素早く、善意を形にできたことを子どもたちの自信にしていきます。

<楽しかった 1年生スキー授業>



吉川中学校では、1年生でスキー授業を実施しています。雪国に暮らす子どもたちにとってウィンタースポーツに親しむことは地域愛につながる大切な学びです。雪を資源としてプラスに捉える教育を重ねていきます。

3月の予定

日	曜	行 事	1	2	3	4	給食	5	6	部活
1	金		○	○	○	○	☺	○	○	●
2	土									
3	日									
4	月	職員会議	○	○	○	○	☺	○	—	なし
5	火	3学年会計監査	○	○	○	○	☺	○	○	●
6	水	公立一般選抜検査日	○	○	○	○	☺	○	○	なし
7	木	卒業式予行練習、準備	○	○	予行	予行	☺	準備	準備	なし
8	金	第45回卒業式	卒業証書授与式							なし
9	土									
10	日									
11	月		○	○	○	○	☺	○	—	なし
12	火		○	○	○	○	☺	○	—	●
13	水	2年修学旅行	○	○	○	○	☺	○	—	なし
14	木	2年修学旅行	○	○	○	○	☺	○	—	なし
15	金	2年修学旅行 (¥)	○	○	○	○	☺	○	—	なし
16	土									
17	日									
18	月		○	○	○	○	☺	○	—	なし
19	火		○	○	○	○	☺	○	—	●
20	水	《祝》春分の日								
21	木	1学年会計監査	○	○	○	○	☺	○	—	●
22	金	3学期終業式 2学年会計監査	○	終業式	学					なし
23	土									
24	日									
25	月	離任式								
26	火									
27	水									
28	木									
29	金									
30	土									
31	日									

※予定は都合により、変更する場合があります。ご了承ください。